

# なきごえ



1981

8

大阪市  
天王寺動物園協会

尼崎 斐呂 詞



昭和40年の夏の初め頃、雨の降る庭に、1羽のハシブトガラスが出現した。放浪のカラスの羽毛は光を失い、空腹のためか弱って見えた。折よく庭で草花の手入れをしていたので、直ちに、花ガツオと白米を持ってカラスに近づいた。人馴れしているのか、カラスの方から走り寄って来たので、地面にまいて与えた。カラスは太く大きなクチバシを頭と共に地面に横たえて、一粒の米を食する度にクチバシを閉じるパチンという音が聞こえてた。

庭に見るキジバトやスズメは粒餌を上手に食するが、食性の異なるカラスは粒餌には不器用である。金網の籠で飼育されていたのであろうか、頭の頂部の羽毛が円形に剥げて灰白色の皮膚が露出している。その部分を指でつまみみたが、気かけない様子であった。初対面であるのに、人をおそれず、面白い動作をするので、親しみが湧きこの旅ガラスを家族の一員に迎えることにした。

頭頂のハゲを三度笠に見立てて、ニックネームをオボロヅキヨのカンタロウと称することにした。肉の脂身や棒状のチーズを買って飼料にしたが、これがカンタロウのお気に召したらしく、仲良しの度合が急速に発展した。以前にもスズメ・ウグイス・ツバメを放し飼いにし、いつでも自然へ戻って行く様にしていたので、カンタロウの夜の宿をオリーブ樹とした。朝は5時に濡縁に出勤して雨戸をクチバシでノックしながら、ガァガァと濁った声で食事の請求を兼ねた挨拶をする。私の起床も正確に仕付け

られ、口笛を吹きながら3本のチーズを持って庭に出て行く、カンタロウは足元に走り寄ってきては、両脚をかがめ、両羽を地面へ垂れ、尾羽を立てて振るるわし、両目の青白い睨を下から上へと開閉しながら、太いクチバシを少し開いて、かすかな声を出している。

食餌の効果が出来たので、羽毛に光沢が増し濡羽色を呈してきたが、体臭もきつくなってきた。チーズの最初一本は丸呑み、二本目はクチバシで二つ折りにして、一片づつくわえて水入れに漬けて丸呑み、三本目を与えると、くわえて庭を歩きハマユウの株元へ置き、大きな葉をちぎってチーズの上のせて保存の動作を見せてくれた。ある時は枯れ枝を燃やしている七輪に近づき素早い動作で炎のついてる枝の一端をくわえて落葉の山へ走ったので、不意打ちを食った家内が、ヤンチャ坊主を叱る様子が大声をあげて追いかけ炎の枝を取りあげる一幕もあった。火を恐れないカンタロウに人間が肝をひやした一件は忘れ得ぬ思い出である。

草花の手入れ中にクルブシを、あの大きなクチバシで狭まれた事も何回か経験した。ゴルフボールを失敬するカラスの話は丸い物体に興味を持つらしい事を示している。桶に入れたハマユウの大きなタネを残らず外に出す仕草の根気の良さにも感心させられた。しかし、クルブシに痛烈なショックを与えた動作は親愛の情を示したのか、何故、相手になってくれないかという意思表示なのか分からない。このカンタロウも夏の一番大掃除の昼には、突然、姿を見せなくなった。私と彼を結んだ口笛の音がギラギラ輝く太陽の下で別れの曲となった。気まぐれの4ヵ月、旅ガラスは灰色の三度笠を頭上にかざしての流浪の旅、平安を祈るのみである。

(生きもの趣味の会々員)

なきごえ8月号もくじ

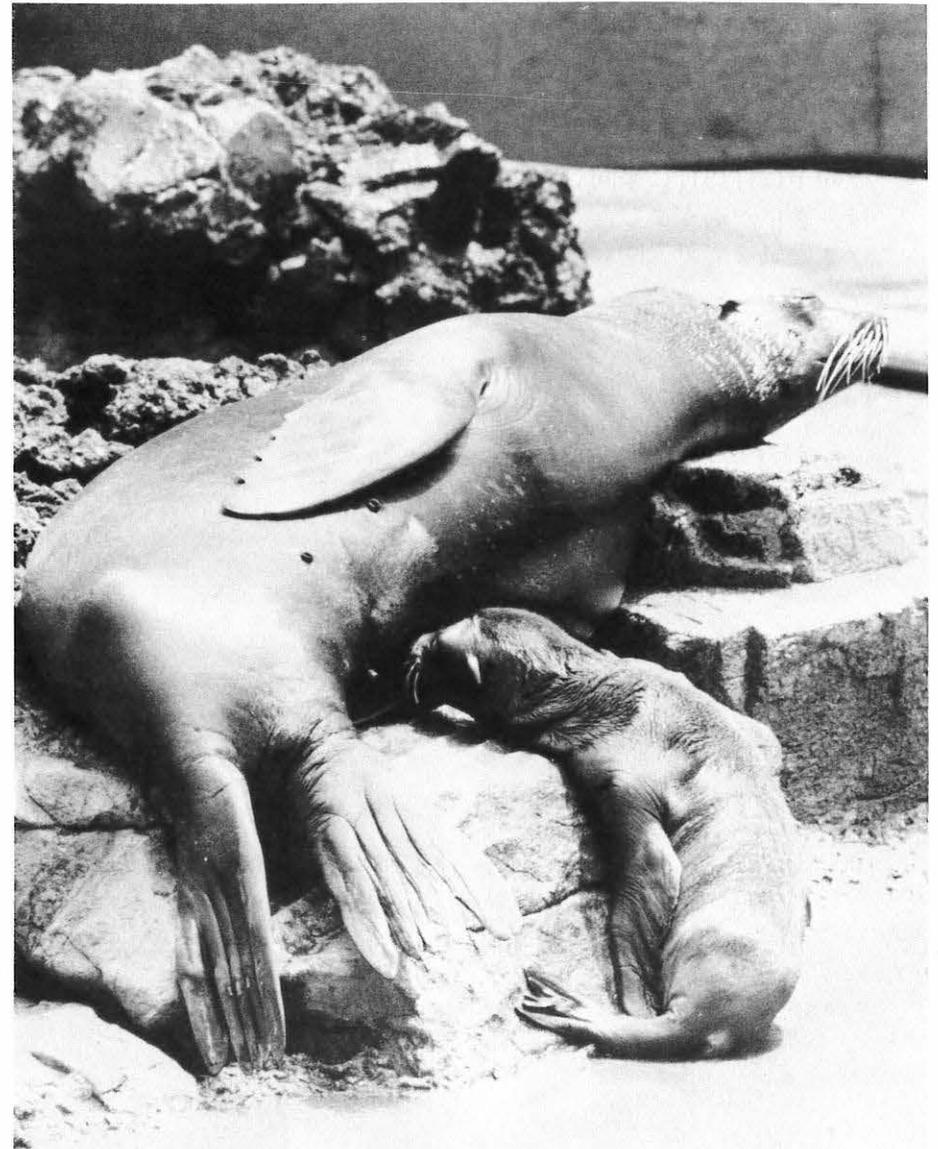
動物と私 ..... 2
“アシカの赤ちゃん誕生” ..... 3
動物国グラフ・動物園日記 ..... 4-5
タイの動物園 ..... 6-7
天王寺の動物たち ②9 ..... 8-9
北米通信員だより ⑥ ..... 10
動物園ニュース ..... 11

表紙の写真説明

“アオエリルリサンジャク”

昨年9月に小鳥の家にお目見えしたこの鳥は、ブラジル、アマゾン南部に分布するカラスの仲間ですが、眼の上と首すじのブルーの羽毛はこの鳥を一段とあざやかにしています。

(撮影：樽本 勲)



“アシカの赤ちゃん誕生”

毎年繁殖成績の良好なアシカは、今年も6月8日、22日、23日と各1頭誕生しました。8日に生まれた赤ちゃんは肺炎で惜しくも死亡しましたが、残る2頭は母親の世話のもとすくすくと育っています。

(撮影：神原 安昭)

# 動物園グラフ

## 「ホッキョクグマ “ユキオ” “ユキコ” の半年」

昨年12月15日に来園した2頭のホッキョクグマも、もう入園後、半年が過ぎました。天王寺の水にも慣れ大阪の暑さにも負けず元気な姿で入園者の人気を集めています。

(撮影：柳原安昭、柴田 総)



“ユキオ”

1979年12月3日、北海道旭川市の旭山動物園生れ、幼さの残るかわい顔をしています。



“ユキコ”

1979年11月19日、アメリカ、タルサ動物園生れ。少々おてんばですがそのかわいい仕草で人気者です。



来園当時の2頭、上が“ユキオ”で下が“ユキコ”まだお互に遠慮がちでした。



レスリングをする2頭、私たちがみていると耳を咬むほど激しいこともありますが、これも仲の良い証拠かもしれません。

水の中でじゃれあう2頭、暑い夏はこれが一番。



“ユキオ”

少々てれ屋の“ユキオ”君、物陰からそっと出てきます。

“ユキコ”



おちゃめな“ユキコ”、後足で立ち愛嬌を振りまきます。



とても水遊びが好きなんです。来園当時はなかなか泳がなかったのですが、最近によく泳いでいます。



水遊びが大好き、特に水に浮かべた丸太遊びが一番楽しいです。



おてんば娘の“ユキコ”、さあダイビング、1、2、3、ドボン。



## 6・7月の動物園日記

- 6 / 21. アライグマの雄が、小獣舎で同居のための見合をすることになりました。
- 22. アシカの子が1頭生まれました。今年2頭目の出産です。
- 23. ブラッサモンキーの一番が、本日より展示されることになりました。今年3頭目のアシカの子が生まれました。
- 24. ミドリカケスが2羽、人工ふ化しました。今年最初に誕生したアシカの赤ちゃんが、母親に充分哺乳してもらうことができず、

- やせがめだってきました。そこで、その子を隔離、治療することにしました。
- 25. カバの夏子の子供を1頭生まれました。またピューマも3頭生まれました。
- 26. 定例の飼育研究会が開かれました。他園からも出席者がありました。
- 27. シマウマの下痢が止まらないので治療しました。
- 28. 半年以上も治療を続けていたアカカンガルーの雌の病気が遂に治りました。
- 30. トカラヤギが3頭出産しました。後楽園よりタンチョウ性別鑑定の依頼があ

- りました。
- 7 / 1. コウノトリの雌が2日前より食欲がおち元気がないので治療を開始しました。
- 2. コウノトリの雌が卵性腹膜炎で治療のいかにもなく死亡しました。
- 3. フンボルトペンギンのヒナの元気食欲がないので、すぐ隔離し治療を始めました。
- 6. トラの赤ちゃんが5頭生まれました。
- 7. 第13回動物園教育研究会が豊橋市動物園で開催されました。当園からは、2名が出席しました。
- 9. ミドリカケスが1羽、人工ふ化しました。

- ニホンザルの♂2才が、腹膜炎で死亡しました。
- 10. ハナシカの子が1頭生まれました。これで今年生まれた子は4頭となりました。
- 12. スプリングボックが1頭生まれましたが起立することができず入院させることにしました。
- 13. 外国産のクマタカが、大阪府農林部自然保護課より保護でとどけられました。夕方、市内玉造の街路樹にいるアライグマ1頭を、天王寺警察の要請により捕獲、保護しました。

# タイ国の動物園紀行

中川道朗

欧米の動物園を見てから、私は、「さて、アジアの動物園の現状は果して如何なものであろうか」とこんな気持ちが私の心の中でいつも去来していた。

そこで、私は、定年退職を機に先ず、アジアの中でタイ国の動物園を訪ねることになった。戦後、外産動物の第一陣としてやってきたゾウの春子、ユリ子の生れ故郷でもあり、タイ人の知友もおり、戦争で亡くなった兄への慰霊も兼ねて、私は大阪の地を離れて、タイ国へと旅立った。

短時日の旅行なので、見たい、聞きたい点が猶、多々あったが時間に追われての視察故、その大要に過ぎない点をお許し願いたい。

タイは、日本の面積の約1.6倍、人口は4,800万人と云われている。大阪空港を飛び立ち、約7時間、機はバンコックに近づく。平らな緑の大地に、無数の水路がうねっている。

空港を出て、タクシーを走らせた。家並は、中国の広州の町に似ている感じだ。この地で経済支配をしている華僑の影響が多分にあるのだろう。それにして立派なお寺が多い。人々の家の庭にも必ずといってよい程、仏様がまつられている。日常的に人々と宗教が固く結ばれているようだ。

さすがに暑い。クーラーを止めた車に入ると車内はムシ返るようだ。汗がタラタラと流れる。中国では一頭、

犬も見  
けな  
かた  
が、  
の街に  
やたら  
犬が多  
い。  
水路が  
多く、  
そこ  
には、ア



バンコック動物園の案内板

ヒル、ガチョウなどが各家ごとに飼われているようだ。やがて、車は、ド・ジット動物園の前で止った。門で来意を告げると、園長室に通された。事務所の天井も南国向きで高く、広く、そして清潔感に溢れている。外は暑くてたまらないが、室内はそよ風が絶えず吹いていて、私はふと中国の動物園を訪ねた時のことを思い出した。広くてゆったりとしていて、ここと同様とても清潔だった。それにつけても一般的に日本のオフィスのお粗末なこと。

園長の説明によると園の概要はこうだ。

このド・ジット動物園(バンコック動物園)は、タイの代表的動物園で、スワンナット宮殿の斜め向いにあり、面積約18万㎡(註:天王寺動物園の約1.8倍)もともと国王の所有地であったのを市が譲り受けたが経営困難となり、法人組織に切り替え、今ではタイ国動物園公社の経営とのこと。収容動物

は100種1443点を数える。主な動物は白ゾウ、白猿、各種鹿類、トラ、ヒョウ、クロヒョウ、カバ、キリン、シマウマ、カンガルー、チンパンジー、オランウータン等と各種鳥類が挙げられる。年間入園者数は約200万人。経営は入園料、売店の利益等でまかなわれ、施設建設費だけは国からの補助金が出る。園長は政治家、軍人、警察官出身者が多く、動物専門家は少ないようだ。おもしろいことに大臣の中にも動物園担当の副総理がいるそうだ。

市民のレクリエーション、社会教育、研究、繁殖に力を注いでいて、スライドや映画制作も行われ、動物園案内や講演会、ラジオ、テレビなどを通じて絶えず動物愛護思想の普及に努めているとのことだった。そして園内は緑と花を一杯に植え、「美しく楽しい動物園」を目指していると園長は熱っぽく語ってくれた。近い内にハッピーランド(遊戯場)を拡張、入園者増を期待している由。又、日本の動物園とも動物交換を通じて国際親善を図りたいとのことであった。変わった催し物では、園内で、憲法記念祭などが催されるとのこと。

園長室を出て、園内を廻ることにした。さすが南国の動物園らしく、園内は広くて緑が多く、万事ゆったりしている。7、8頭いるゾウ舎は壁もない簡単なバラック建てだ。そこに大小、美事なゾウがつかがれているが、運動場がない。不思議に思って聞くと、「朝夕、園内を散歩さすので、その必要はない。



カバ舎

とのこと。それにしてもさすが本場のゾウだけあって美事な体格のゾウばかりだ。園のほぼ中央に広い池があり、若い男女がボートを浮かべて楽しそうに遊んでいる。ふと、池面がさわぐのを見ると、体長約1メートル程の「大ナマズ」がウヨウヨ群れていた。

動物の大部分は旧式のオリの中にあるが、カバ舎は放養式のゆったりとした、しかもたくさん緑を配した美事なものだった。年中、暑いこの国で、この環境で育つカバは、極楽天



裏庭で(筆者)

園に違いない。

全般的に見て、施設は旧形式のものが多く、まだまだ改善の余地がありそうだ。園当局も、新しい放養式の動物園にするために、目下、盛んに政府に働きかけているようだ。

私は、園長に謝辞を述べ、次の目的地、タイの京都と云われる風光明媚なチェンマイの動物園を目指して、バンコック空港を飛び立った。

バンコックから北へ800キロ。約1時間でチェンマイに着く。静かな農村風景を夢見ていたが、仲々どうして、大学あり、大病院あり、ゴルフ場ありで近代的ビルが並んでいる立派な都会だ。

チェンマイ大学の近く、ドイ・ステープ山のふもとに面積

約10万㎡(天王寺動物園と同じ広さ)の動物園公社経営のタイ第二の動物園のチェンマイ動物園がある。入場門は簡単なバラック建て、入るとすぐ右側に子供の遊戯場がある。ブランコ、スベリ台、砂場など、近所の子供たちだろう、小さな弟妹たちを連れて喜々として遊んでいる。黄色い僧衣をまとった僧侶の姿も見える。動物たちは、一般的なものばかりで珍らしいものはいない。暑い国では、止むを得ないのだろう。それでも、さすがにキジ類の本場に近いこともあって、鴉鶏類の種類は多い。95種、321点の動物がいるそうで、手作りの小屋が目につく。



チェンマイ動物園正門



キジ舎

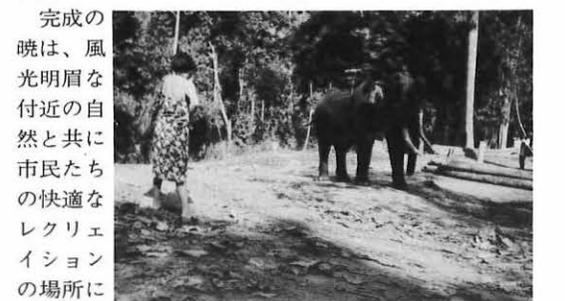
り珍らしいものはいない。暑い国では、止むを得ないのだろう。それでも、さすがにキジ類の本場に近いこともあって、鴉鶏類の種類は多い。95種、321点の動物がいる



ライオン舎

ライオンのオリにしても、鉄格子や擬岩の様子では職員の手作りらしい。本場の手長猿舎は新しく建設中で、仮小屋に集められたシャーマン、ギボンが盛んにホー、ホーとなっていた。

現在、園の一角を盛んに拡張中で、山林をきり開いて、近い将来には約80万㎡に拡げるため、十ヵ年計画のもとに、目下、改造工事が行なわれていた。



ゾウの学校

完成の暁は、風光明媚な付近の自然と共に市民たちの快適なレクリエーションの場所になるに違いない。今は、ただ、創生期の動物園という感じがした。

タイには、この他、第三の動物園として、バンコック近くのチョンブリ市に、面積約48万㎡に及ぶサファリ型のカオ、キオ動物園があるが、今回の旅行には含まなかった。そのかわり、このチェンマイの近くにあるゾウの学校を見学することにした。

市の中央から車で約30分、山の中腹に「ゾウの学校」がある。ここは、観光地としても有名で、タイ各地で生れた母子ゾウを集め、将来、材木運搬などの使役につかうため、子ゾウを訓練するための場所である。母子共というのは、子ゾウに哺乳さすために母ゾウも一緒に入学する訳で、先生1人に子ゾウ



ゾウの学校で(筆者)

1頭というマンツーマン方式で教えられ、24時間、付きっきりで授業を受けるのだ。しつけから、材木運搬などの授業まで、果ては大好きな水遊びも、先生がつきっきりで世話を

する。6、7才で卒業し、母子共連れ立って、元の故郷に帰り、使役に従事する。

しかし、ここも近代化の波が押し寄せて、今やブルドーザーが幅をきかすようになって、だんだんゾウの学校も衰微していくようだ。私は、人と動物のふれ合いが末長く続くように祈り乍ら、山を下りた。

(大阪市天王寺動物園協会専務理事)  
前大阪市天王寺動物園長

カバ①



巨頭会談? いえいえお昼寝です。

☆ はじめに

ある人は「川のウマ」と呼び、ある人は「水の水牛」と呼び、またある人は「川のブタ」と呼ぶ動物。それは何でしょう。

体が大きくて、いつも水の中に沈んでいるもの。そして動物園で1、2を争う人気者。そうノカバです。ギリシャ人は「川のウマ」、アラビア人は「川の水牛」、そしてエジプト人は「川のブタ」と呼びました。どれが一番正確かは別にして、今月はこのカバの話をしたしたいと思います。

☆ なかなか優雅なカバ

カバの特徴というとなんともあんな体でしょう。ビヤ樽のような胴体にくっついた太短い4本の足とこれまた太短い尾。それにでっかい頭。何とも強烈な印象を与えてくれる体つきです。ただ普段は体の割に臆病なため水中に入ったままで、せいぜい頭を出す位であまり水から出て来てくれません。ですから週一回のプール掃除の時と午前11時頃のエサの時間がカバの見頃となります。

陸の上では不器用そうに見えてもあの体は実に機



巨大なおしりに、太短い尾。

能的に出来ていて、水中では陸上でのウマさながらに優雅に泳ぎます。私の夢の一つに優雅に泳ぐカバの姿を入園者にお見せしてカバの不名誉な誤解を解くこと、というのがありますがこれは技術的に

は、かなり大変です。

カバも今や手厚く保護されているようですが、以前は原地の人々の有益な動物性蛋白資源として狩られていました。良質な皮がとれますし、肉も大変貴重品です。姿はブタに似ていても味は牛肉の赤味肉に似ているそうです。また1頭から100kg近くもとれる脂肪も大変良いものだそうです。この脂肪は私共獣医師泣かせで、なにせ厚味が5~10cmもある為、並の注射針では注射が大変むずかしいのです。しか

し、このおかげで始終水につかっていても体が冷えませんし、水に浮き易くなるわけです。



鼻と眼と耳が一直線に並んでいます。

カバは陸上哺乳類ではゾウやサイについて大きい動物で、オスでは1.5~2.5トン、メスでは1~1.5トンもの体重があります。また体の長さも大きいものでは4.5mもあります。よく馴れたカバなら背中の上で麻雀でもできるかも知れません。

カバは偶蹄目に属します。4つの胃を持つウシやシカ、キリン、ラクダと同じ仲間です。が、他の仲間とちがって胃は3つで反芻はしません。それに胆のうを持っていませんし、盲腸もありません。しかし、他の腸は大変長く、5.60mもあります。あのゾウでさえ30m程です。同じ偶蹄目に属しながらシカやキリンとは外観の全く違うカバは中味も少し違っているようです。また水中で暮すことが多い為でしょうが、毛は口の周りや尾の先端だけに申し訳程度に生えているだけです。

しかし、食べるエサは他の偶蹄類と同じ草や葉、果物などで、野生では体重の1.1%~1.3%、つまり130~250kg程の草を1日に食べると言われます。



動くビヤ樽

動物園では青菜、ジャガイモ、ニンジン、オカラ、牧干草、ペレットなど栄養価の高いものを50kg程与えています。

さて、歴代のカバの飼育担当者泣かせのひとつに糞があります。糞掃除はどんな動物でも飼育する上で決って欠かせないものですがカバは特別です。というのはカバは糞をまきちらすからです。カバの糞は他の動物に比べ少し軟かめですが、これを申し訳程度に毛の生えた太短い尾で、出るはじから高速ワイパーよろしく左右へパチャパチャパチャとはねちらかします。糞の中にはそのカバの体臭がついていますので糞をまきちらすことによって自分の臭いをまわりにふりまき「ここは俺様の領土だぞ!! 誰も入るな!!」とばかりに宣言しているわけです。ヒトの家における表札あるいは塀と同じ役割です。宣言は結構なのですが、臭い汚いので担当者は見つけしだいこれを洗い流します。するとせっかく出した表札が無くなったわけですからカバは負けじとまたバラまきます。こうしてカバと担当者の果しない



腕の付根の白いものにご注目。

イタチゴッコが続く訳です。

神様はある時他の動物の為に草を刈る動物としてカバをお創りになりました。そしてカバをアフリカへ使わしました。しかし、大変暑いのでカバは「神様、ここは大変暑うございます。涼しい夜は草を刈りますが、昼間はどうか水の中に居させて下さい。」と、神様をお願いしました。そこで神様はしぶしぶ「よし。しかし、決して魚を食べてはならんぞ!!」とお命じになりました。それからというものカバは魚を食べてはいけないことを神様にお見せする為に、毎日糞を尻尾で払ってみせるようになったとき。

アフリカに伝わる言い伝えです。

カバと担当者のイタチゴッコは今日も続いています。そして、この面白いカバの話も来月に続きます。

(つづく)

(飼育課 獣医師：長瀬 健二郎)

# 北米通信員だより ⑥

テキサスとルイジアナを2週間バス旅行した際、6つのすばらしい動物園を歴訪することができましたので御紹介したいと思います。テキサスはまさに動物園の宝庫といえるほど数多くの立派な動物園があります。

## § ダラス動物園

ダラス動物園を訪れたのは午後のことで都合上かけ足にならざるを得ませんでした。ボランティアのサーシ女史が園内を案内してくださいました。有蹄獣と爬虫類のコレクションはやはり見事で9頭のオカピ、10頭のボンゴを繁殖させた実績、サイガ、デイクデイクなど小型有蹄獣のよく揃っていること、50種のガラガラヘビを含む爬虫類の一大コレクションは聞きしにまさるものでした。ゴリラの赤ん坊、

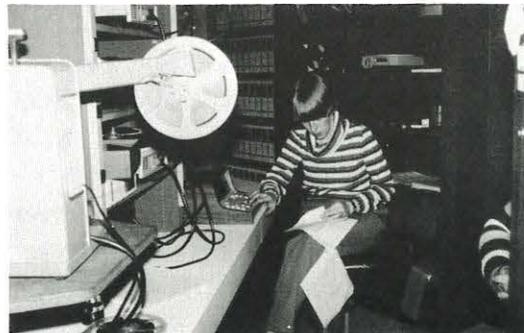


ボールのように丸まったコガタアルマジロ

コガタアルマジロも特別に見せていただきました。ここの教育事業はボランティア達に負うところが大きく、あまり手を広げないながらも地域に密着した地味なものが行なわれている模様でした。それから昨年、設問付きの非常によくできたガイドブックが発刊されたことも付記しておきます。

## § フォートワース動物園

さて翌日は隣町のフォートワース動物園を訪ねました。森の中の川に沿ってつくられた環境に恵まれた所で、園内で野生のカワセミが見られました。ここはテキサス最古を誇る完成度の高い動物園で、ま



コンピューターを使って新しいスライド、プログラムを制作中

た教育事業にたいへん力を入れていることで有名です。教育次長のセレスケ氏にお会いし、近年完成した教育棟を案内していただきました。自慢のマルチスクリーンの講堂といい、理科実験室ふうの教室といい他にはない立派なものでした。私1人のためにスライド映写機16台をコンピューターで同時に操作して行なう自作のスライドショーをしてみせて下さいました。すでにいくつものコースガイドの一環としてのプログラムを持っているとのことで実に膨大な量のスライドがありました。園内の施設もまた見事で、ことに水族館と爬虫類館はテキサスの財力を示して余りありません。お伽の国風の子供動物園は心憎いばかりでしたが育仔施設を主にした新しいものが建設中で、取りこわしが間近いそうです。1日



1954年にできた子供動物園

かけてざっと見てまだ去り難く思っていたところ、ボランティアのcock夫人が御自分の家に泊まってもう1日見ることをすすめて下さったのでお言葉に甘えることにしました。ちなみにボランティアは週1日を動物園のために過ごすことになっており同夫人も1日中タイプライターにむかっておられたのでした。ここのボランティアは児童の園内ガイド、移動動物園を催す他、スライドショーのプログラミングや書類の整理など実にいろいろな仕事をしていました。御主人のcock氏は引退した建築家で犬の審査員としては世界的に有名な方で、お宅では歓待をうけ、私はこの時ほどボランティア活動をしていて良かったと思ったことはありませんでした。翌日は教育課長のランカスター氏からサマースクールの要領を伺い、哺乳類課長のクラーク氏に最近充実してきた哺乳類の施設を案内いただき、さらに美術次長の老画家ポーブ氏のパンフレットや看板を作成なさる精力的なお仕事ぶりを拝見し、同園のレベルの高さが実にこういった仕事に情熱を燃やす多くの人々によって支えられているのを目のあたりにしたのでした。(つづく)

(大阪動物園ボランティアズ：富樫史朗)

# 動物園ニュース

## § 鳥類の自然孵化3題!!

毎年鳥の雛は孵卵器で多数孵化していますが、今年はいくつかの鳥が自然孵化に成功しています。

キジ舎の一角でニジキジといっしょに飼われているダルメインコが、寝室の片角で抱卵を続けていましたが、6月30日に無事1羽が孵化しました。セキセイインコやオカメインコの雛はよく孵化するのですが、ダルメインコの孵化は初めての事です。約1ヶ月経過した現在、体の大きさも2倍以上になり、羽毛も生え始め元気に育っています。



また小鳥舎ではミドリカケスの雛が7月21日に1羽、翌22日に2羽孵化しました。先月のニュースでお知らせしましたように、最初人工孵化を試みたのですが、次々孵化した4羽の雛は残念なことにいずれも数日で死亡してしまいました。その後も産卵は

容しています。

## § ホッキョクグマへ氷柱プレゼント。

7月23日は歴のうえで大暑ということで、ホッキョクグマに氷柱がプレゼントされました。2頭とも昨年末に来園したばかりなので、大阪の夏は初めてとあって、おからの暑さのため少々バテ気味でしたので冷たい氷に2頭は大喜びでした。

## § 天津動物園一行来園

ポートピアでのパンダの飼育のために神戸市にいられている天津動物園のパンダ飼育チームの4名の方々が、7月13日と23日の2回に分かれて来園されそれぞれ約4時間にわたって熱心に園内を見学されました。

## § サマースクール開講



くらしを彩るショッピング

**近鉄百貨店**

アベノ店 (06) 624-1111 ・ 上本町店 (06) 779-1231  
東京近鉄 (0422) 21-3331

・ 近鉄百貨店グループ  
大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜  
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

## 北米通信員だより ⑥

テキサスとルイジアナを2週間バス旅行した際、6つのすばらしい動物園を歴訪することができましたので御紹介したいと思います。テキサスはまさに動物園の宝庫といえるほど数多くの立派な動物園があります。

### § ダラス動物園

ダラス動物園を訪れたのは午後のことで都合上げ足にならざるを得ませんでした。ボランティアのサーシ女史が園内を案内してくださいました。有蹄獣と爬虫類のコレクションはやはり見事で9頭のオカピ、10頭のボンゴを繁殖させた実績、サイガ、デイクディクなど小型有蹄獣のよく揃っていること、50種のガラガラヘビを含む爬虫類の一大コレクションは聞きしにまさるものでした。ゴリラの赤ん坊、



た教育事業にたいへん力を入れていることで有名です。教育次長のセレスケ氏にお会いし、近年完成した教育棟を案内していただきました。自慢のマルチスクリーンの講堂といい、理科実験室ふうの教室といい他にはない立派なものでした。私1人のためにスライド映写機16台をコンピューターで同時に操作して行なう自作のスライドショーをしてみせて下さいました。すでにいくつものコースガイドの一環としてのプログラムを持っているとのことで実に膨大な量のスライドがありました。園内の施設もまた見事で、ことに水族館と爬虫類館はテキサスの財力を示して余りありません。お伽の国風の子供動物園は心憎いばかりでしたが育仔施設を主にした新しいものが建設中で、取りこわしが間近いそうです。1日



## 動物園ニュース

### § 鳥類の自然孵化3題!!

毎年鳥の雛は孵卵器で多数孵化していますが、今年はいくつかの鳥が自然孵化に成功しています。

キジ舎の一角でニジキジといっしょに飼われているダルメインコが、寝室の片角で抱卵を続けていましたが、6月30日に無事1羽が孵化しました。セキセイインコやオカメインコの雛はよく孵化するのですが、ダルメインコの孵化は初めてのことです。約1ヶ月経過した現在、体の大きさも2倍以上になり、羽毛も生え始め元気に育っています。



また小鳥舎ではミドリカケスの雛が7月21日に1羽、翌22日に2羽孵化しました。先月のニュースでお知らせしましたように、最初人工孵化を試みたのですが、次々孵化した4羽の雛は残念なことにいずれも数日で死亡してしまいました。その後も産卵は続き7月3、4、6に各1個づつ産卵し、抱卵もするようになりましたので自然抱卵を続けさせていたところ、3卵とも孵化しました。テリムクドリやヒガシラムクドリモドキなど10種以上の鳥が雑居していますので無事育つかどうか心配ですが、ぜひ大きく育ててほしいものです。

さらに、水禽放養舎ではアカハシリュウキュウガモが7月23、24両日に各1羽自然孵化しました。昨年は人工孵化で繁殖賞を受賞していますが、今年は放養舎の中の島にある土管で作った巣穴を網で囲い小屋を作って、自由に出入りをさせておいたところ産卵し抱卵を続けていました。孵化後、他の同居する鳥からの攻撃を防ぐため入口を閉めたところ、親鳥は少し落ち着きをなくしましたが、無事育つことでしょう。

### § クマタカの保護

7月13日、枚方市の市民会館の壁にクマタカが衝突し保護されたということで、大阪府の自然保護課の依頼で当園で保護預りすることになりました。その後、飼い主の方が見つかりましたが、もう飼いきれないということで当園に寄贈されることになりました。

種名を調べたところ、インドから東南アジアに分布するクマタカの一亜種と思われます。検査は終了しましたが展示場所がないため、現在動物病院に収

容しています。

### § ホッキョクグマへ氷柱プレゼント。

7月23日は歴のうえで大暑ということで、ホッキョクグマに氷柱がプレゼントされました。2頭とも昨年末に来園したばかりなので、大阪の夏は初めてとあって、おからの暑さのため少々バテ気味でしたので冷たい氷に2頭は大喜びでした。

### § 天津動物園一行来園

ポートピアでのパンダの飼育のために神戸市にいられている天津動物園のパンダ飼育チームの4名の方々が、7月13日と23日の2回に分かれて来園されそれぞれ約4時間にわたって熱心に園内を見学されました。

### § サマースクール開講

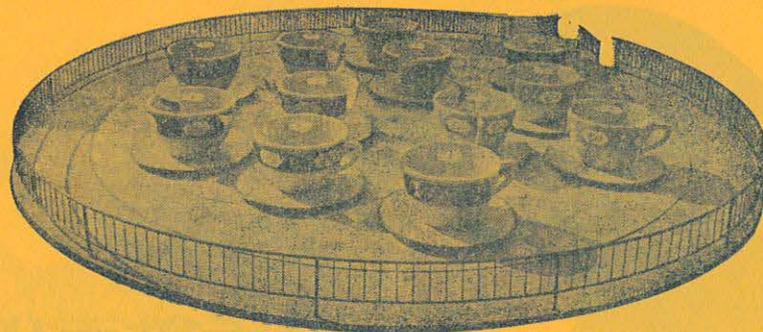


7月23日から、恒例のサマースクールが開講されました。応募者多数の中から、約270名の小学校4、5、6年生が、8月2日まで3組に分かれてそれぞれ3日間、暑さに負けず動物の勉強をしました。

### 休園日のお知らせ

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。  
11月までの休園日は下記の通りです。  
8月17日(月)、9月21日(月)、10月19日(月)、  
11月16日(月)。  
開園時間は9時半～5時で、4時に切符売止めになります。

## 遊園施設委託経営・製作・販売



## 久竹娯楽株式会社

本社 工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号  
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和56年8月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

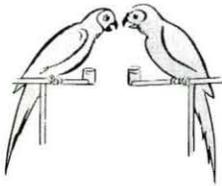
第17巻 第8号(通巻191号)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06)771-0201

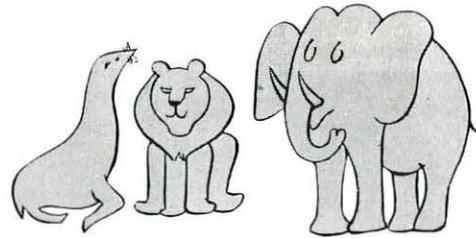
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地  
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地

電話(078)221-8195・221-1517

電話(078)241-3494



自然の  
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



# 雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

橋本 一郎・土井 良彦・橋本 勲・中川 哲男・宮下 実・長瀬健二郎・神原 安昭・森本 泰利・大野 尊信  
阪谷 文彦・農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・高橋 真三・板野 健一・石島 安胤・柴田 鏡